

お知らせ

臨床腫瘍学講座が施行中の臨床研究

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテを利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡ください。

【研究課題名】

経皮的コルドトミー施行時における電気刺激により惹起された異常感覚の領域と無痛覚領域の関係について後方視的研究

【研究機関】

愛媛大学医学部附属病院緩和ケアセンター・臨床腫瘍学教室、麻酔・周術期学教室

【研究責任者】

藤井知美（愛媛大学医学部附属病院緩和ケアセンター・助教）

【研究の目的】

経皮的コルドトミーは薬物療法や他の方法で鎮痛困難な末梢性のがんの痛みに行われます。電極針に高周波を通電し脊髄の前側索にある痛覚伝導路に凝固巣を作成し鎮痛効果を示します。経皮的コルドトミーの鎮痛効果を高め合併症を減らすために電気刺激により惹起される温冷痛感覚（以下異常感覚）の部位と熱凝固により得られる無痛覚領域の関係を調べます。

【研究の方法】

（対象となる患者さん）1986年から2010年までの間に愛媛大学医学部附属病院および関連病院（大阪大学医学部附属病院、兵庫医科大学病院、四国がんセンター）で経皮的コルドトミーを施行した患者さん。

(利用するカルテ情報) 術前後の痛みの強さ、痛みの部位、日常生活動作、電気刺激による異常感覚の部位、熱凝固による無痛領域、術後の反対側の痛みおよび新しい痛みの有無および強さ、部位、痛み以外の合併症の有無、死亡までの追跡期間など。

【共同研究について】

この研究は、他の病院と共同で行っています。
対象となる患者さんのデータは、匿名化されて、紙媒体およびCD-Rに保存した電子ファイルとして愛媛大学医学部臨床腫瘍学教室に一時的に保存されています。多くの情報を解析することで、医学部附属病院・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されています。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる個人情報を除いて匿名化したしますので、個人特定できるような情報が外に漏れる事はありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<情報の管理責任者> 愛媛大学医学附属病院 緩和ケアセンター 藤井知美

【問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院緩和ケアセンター・臨床腫瘍学教室 藤井知美
791-0295 愛媛県東温市志津川
Tel;089-960-5969(臨床腫瘍学教室)